

# ニフクラと統合ネットワークサービスを活用し、 広告関連業務システムのセキュリティを強化



<https://www.fujitsu.com/jp/>

## 本社事務所所在地

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2  
汐留シティセンター

## 本社所在地

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

「統合ネットワーク  
サービスを中心に  
複数の対策を組み合わせ、  
以前よりセキュリティを  
強化しました」



C P & S 事業本部  
営業担当

F 氏

「スムーズなクラウド移行を  
実現しました」



C P & S 事業本部  
SE担当

K 氏

## お客様の課題

高度化するサイバー攻撃に備えたセキュリティ強化が必要

国内・海外からの攻撃に備えた対策の実現

コスト負担が大きいオンプレミスからの脱却

## 統合ネットワークサービス (IPCOM VE2シリーズ) を選んだ理由

手軽に強固なセキュリティを実現

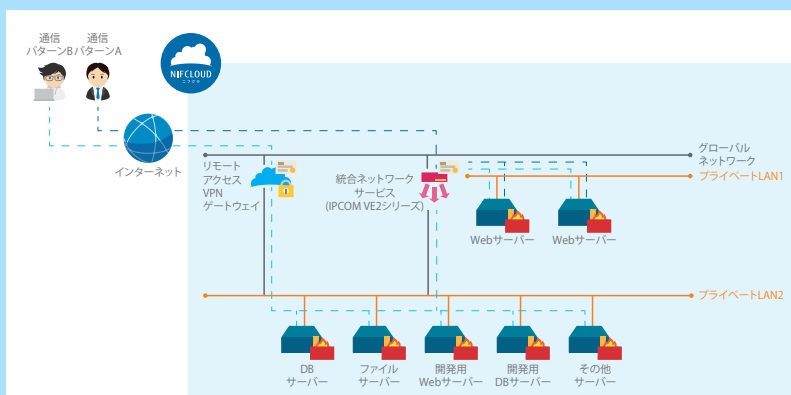
国別辞書によるアクセス制御が可能

富士通株式会社 (以降、富士通) は、この度某大手企業向けに、広告掲出に関する一連の業務を管理するシステムのニフクラ移行を実施した。また、高度化するサイバー攻撃に備え、セキュリティに関する見直しも同時に実施することとなった。ファイアウォール、SSLアクセラレーター、IPS (不正侵入防止システム) に加えて、海外からのアクセス遮断を実現する国別辞書機能を有するファイアウォールを活用するため、統合ネットワークサービス (IPCOM VE2シリーズ) (以降、統合ネットワークサービス) を採用。短期間でセキュリティ強化を行い、安心・安全な環境を実現した。



## 課題の解決

- 短納期プロジェクトでセキュリティの強化を実現
- 脅威となり得る海外からのアクセスを遮断
- 容量増への柔軟な対応と、安定したクラウド環境を構築



## コスト面、将来的な容量増への柔軟な対応を評価し 広告関連業務システムのインフラにニフクラを採用

このプロジェクトの顧客である某大手企業は広告事業を手掛けており、看板やデジタルサイネージなど、多様な媒体での広告を管理している。

これらの膨大な数の広告について、掲出の受付から掲出場所の割り当て、広告作業の依頼、精算処理など多くの業務プロセスがあり、それらをすべて確実に管理・遂行する必要がある。その業務を支えるのが、今回、富士通が採用したシステムである。

本システムは、富士通の協力を得て開発を行い、2001年に稼働を開始した。本システムは稼働以来2回のリプレースを行ってきたが、一貫して富士通のデータセンターで運用を続けてきた。しかし、2020年の3回目のリプレースにあたり、クラウドへの移行を提案し、今回実施するに至った。リプレースごとに必要な物理サーバーへの投資を減らせる点、容量増に柔軟に対応できる点が評価されたためだ。将来的に利用を検討しているAIなどによる機能拡張についても、クラウドであれば柔軟に対応できることがプラス要因となった。また、ニフクラは導入前に本番環境と同じ環境でトライアルを実施でき、実際に使って検証できたことがクラウド化を決める後押しにもなったという。クラウドへの移行を決定した同顧客は、システムの開発、運用で協力してきた富士通の信頼性を見込み、ニフクラを選定。月間サーバー稼働率が99.99%と安定していること、さらに国産のクラウドであることの安心感や、充実したサポート体制を期待しての選定だった。

## 統合ネットワークサービスのFWやIPS、国別辞書でセキュリティを強化

同顧客がニフクラへの移行を進めていた際、高度化するサイバー攻撃に備え、セキュリティに関する見直しも検討することになった。クラウドへの移行に伴い、オンプレミスと同等のセキュリティレベルを担保できるか懸念もあった同社は、事故を未然に防げるようWebアプリケーションやネットワークの脆弱性診断を実施。その診断をもとに、外部脅威のリスクに備えた対策をニフクラへの移行プロジェクトに合わせて取り組むこととなった。

そこで、富士通から提案したのが、ニフクラで提供している統合ネットワークサービスの利用である。統合ネットワークサービスは、ファイアウォール(FW)やIPSなどのセキュリティ対策機能、帯域制御やサーバー負荷分散などのネットワーク最適化機能を備えた富士通製の仮想アプライアンスソフトウェア「FUJITSU Network IPCOM VE2シリーズ」を利用したサービスだ。1台でシステムのセキュリティを確保し、帯域を最適化してシステムの可用性を向上させることができる。

IPCOMは様々なシリーズが展開されており、リプレース前にもアプライアンス版製品を利用していたが、本システムをニフクラへ移行検討していた時期に、統合ネットワークサービスがニフクラのサービスとして新たに提供されることが発表された。本サービスはオンプレミスで利用していたアプライアンス版IPCOMシリーズと定義互換があり、オンプレミスからニフクラへの移行に際してもネットワークの機能設計は不要になるなど、スムーズな移行を可能としている。また、移行推進段階で設計変更・構築が必要となっても、柔軟に対応が可能であることもクラウドならではの強みだ。そこで同社は、アプライアンス版IPCOMシリーズで利用していたファイアウォール、サーバー負荷分散、SSLアクセラレーター、IPSなどを統合ネットワークサービスでも活用することを決定。さ

らに、高度化する海外からのサイバー攻撃に備え、海外からのアクセスをすべて遮断する国別辞書も活用することとなった。

コロナ禍というイレギュラーの状況の中での導入プロジェクトとなったが、短期間で無事稼働を開始した。

## セキュアで安定した環境を獲得 今後はAIを活用した運用も視野に

ニフクラに移行した本システムは、稼働から数カ月が経った現在も安定して稼働しており、セキュリティ面でも問題は起きていない。

富士通の提案によって、同顧客はオンプレミスからニフクラへ移行し、さらに統合ネットワークサービスを中心に複数の対策を組み合わせることで、以前よりセキュリティを強化することができた。今後も新たな脅威に備え、統合ネットワークサービスの機能である監視や脆弱性診断レポートなどで常に警戒し、新たな脅威に対して先手を打って対策できるよう適宜対応していく予定だ。

同顧客は今後、AI活用も進めていく予定だ。一般的に広告表現には一定の基準があり、それぞれのメディアが規程を定めている。現在は人の目で行っているチェック体制を効率化できないかと検討している。富士通クラウドテクノロジーズで展開しているIoTサービスを利用して、AIをどう活用していけるか、富士通と検討していくとのことだ。

ニフクラと統合ネットワークサービスの導入により、セキュアで安定した環境を構築できた本システムは、今後もさらなる成長を続けていく。

導入に当たっての  
お問い合わせは



0120-22-1200

受付時間:平日9:00~17:45  
携帯電話・PHSからも  
ご利用いただけます。

※製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。 ※本インタビューは2021年4月20日に行いました。4月20日現在の情報です。